

## 令和 8 年度（2026 年度）事業計画書

当会の公益目的事業は、「観賞用花木等の収集保存、育種、栽培、利用の研究、情報の収集と提供及び普及啓蒙等の事業」です。

以前は桜苗木の大量配布が中心でしたが、近年は、桜の名所づくりのノウハウや保全・管理方法の普及啓蒙、花のまちづくりの支援といった質の充実に力を注いでいます。令和 8 年度（2026 年度）も、こうした活動の質的充実にさらに推進していきます。

公益目的事業の各項目における主な計画は以下のとおりです。

### （1）桜苗木の生産・配布による桜の名所づくりや桜苗木の受託生産と育苗、花や緑を活かした花のまちづくりなどの推進

#### 1) 桜の名所づくり

～桜苗木の生産と配布～

当会は、病気に強く育てやすい品種の苗木生産と提供を通じて、桜の名所づくりを支援しており、これまでに累計 260 万本以上の桜苗木を出荷してきました。単に苗木を提供するだけでなく、植栽地の気候・土壌や住民のニーズに合った品種の選定、植栽方法や管理方法に関する助言、植栽後のフォローなどを行っています。新しい名所の開拓から既存の名所の維持・保全へニーズが変化し、苗木も新規から植替主体となっており、ピーク時に比べ出荷本数は減少していますが、引き続き自治体や地域住民と一体となって、桜の名所づくりを支援していきます。

～さくらコンシェルジュ～

地域住民団体等の「自分たちで植栽した桜を健全に育てて新しい名所にしたい」、「既存の桜名所を後世に伝えたい」といった要望に応えるため、当会研究員を現地へ派遣します。

令和 8 年度も要請に応じて積極的・計画的に現地へ出向き、住民や団体等と共に活動計画を策定して、技術的な支援や指導を行うとともに、住民の桜によるまちづくりの合意形成にも協力していきます。

～桜を通じた災害復興支援～

災害復興支援として、これまでに 7,000 本以上の桜の苗木を無償で提供しており、今後も継続していきます。当初は東日本大震災の被災地における津波被害を受けた桜の後継樹育成などが中心でしたが、令和元年度以降は支援対象を自然災害全般に拡大しています。今後も被災地向けに桜苗木、花苗および堆肥の無償提

供、品種の選定や復興計画の進捗に合わせた植樹、植栽後の剪定・保全管理などの技術指導を行っていきます。

## 2) 桜苗木の受託生産と育苗

地方自治体等からの委託で、その地域に由来のある桜の苗木を接木により生産・育苗し、国土緑化を推進します。

令和8年度も要請に応じて住民が親しみを感じている桜の苗木を育て、植栽し後世に残すことにより、地域住民に愛される桜の名所づくりに貢献していきます。

## 3) 花のまちづくり

花や緑を活かした地域環境づくりの委託を地方自治体から受け、計画立案や住民への植栽指導および保全管理などを行い地域の環境づくりへの提言をします。

令和8年度は、前年度に続き山口県上関町や静岡県熱海市において実施する予定です。上関町では、「花咲く海の町・上関」推進委託事業として、河津桜と水仙による公園の整備、「花づくりパートナー制度」の支援、保育園児を対象にした「花育」活動などを継続して実施していきます。熱海市では、市内梅園のリニューアル設計業務に携わります。

また、令和9年3月から横浜市において開催される国際園芸博覧会 ” GREEN x EXPO 2007 ” では花のまちづくりをテーマとして出展を行っていきます。

### (2) 桜の名所づくりや花のまちづくりに関する講師派遣や講座・シンポジウム等の開催

#### 1) 講師派遣

地方自治体等が開催する桜の植栽・保全管理等に関する講習会や花のまちづくりに関する講習会に当会職員を講師として派遣し、花のまちづくりの普及啓発を図ります。令和8年度も要請に応じて各地で活動を行っていく予定です。

#### 2) 桜の保全・管理に関する普及啓発

～サクラ保全管理講座の開催～

全国の樹木医や桜の保全・管理を行っている住民団体などを対象に、桜の保全・管理方法、病虫害対策、桜に関する文化的・社会的知識などを提供します。

本講座は毎年開催しており、オンラインでの参加も含めて、毎回100名以上の方に聴講いただいています。令和7年度は11月に大阪で開催し、令和8年度は

東京で開催する予定です。

～全国さくらシンポジウムの開催～

桜の名所を守る住民活動の事例発表や桜に関する講演・研究発表および現地見学会などを実施し、行政・市民・企業などが一体となって桜の名所を育てる機運を醸成します。

令和8年度は4月2日・3日の両日、千葉県八千代市において「全国さくらシンポジウム in 八千代」を開催します。千葉県においては初めての開催となります。初日は、(公財)かずさDNA研究所植物ゲノム生物学研究室長による記念講演ならびに八千代市内で活動されている「新川千本桜の会」の活動報告などを行います。2日目は、市内を流れる新川沿いの「千本桜」と隣接する印西市の「吉高の大桜」の見学会を実施します。

～学び舎の桜プロジェクト … 桜を知ろう、守ろう、救おう～

各地の小学校にある衰弱した桜を児童やPTA及び地域住民と当会が一緒になって樹勢回復などの作業を進め、桜に対する関心を深めてもらい、地域で桜を守る活動を支援します。当会の桜の名所づくりアドバイザーの協力も得ながら、接木や桜授業等、地域特性に応じた活動内容を心掛けて、支援を継続します。

### 3) 花のまちづくり運動の普及啓発

～全国花のまちづくりコンクールの実施～

花のまちづくりコンクール推進協議会(当会は事務局担当)の主催で花を活かした生き生きとしたまちづくりの普及拡大を目指して開催します。審査委員は園芸・造園・都市計画等を専門とする大学教授等で構成しています。大賞の農林水産大臣賞、国土交通大臣賞のほか、優秀賞、奨励賞、入選、努力賞などを選出し、優秀な応募者を表彰し激励します。

本コンクールは、平成2年に開催された「国際花と緑の博覧会」の基本理念“自然と人間との共生”を継承・発展させる事業として、平成3年から実施しており、現在は(公財)国際花と緑の博覧会記念協会、(公財)都市緑化機構、全国花みどり協会ならびに当会で「花のまちづくりコンクール推進協議会」を構成し、運営しています。

令和8年度のコンクールは、例年どおり4月に募集を開始します。7月下旬から9月にかけて、第1次審査、現地審査、第2次(最終)審査を行い、10月に表彰者を公表し、その後表彰式を開催します。引き続きコンクールの質的充実を図りつつ、効率的な運営に努めます。また、自治体や関係団体などへの働きかけ、マスコミへの情報提供などを積極的に行っていきます。

### ～全国花のまちづくり地方大会～

地方での花のまちづくりの普及拡大を目的に、花のまちづくりコンクール推進協議会と地方自治体との共催で開催します。全国花のまちづくりコンクールで大賞を受賞した団体の活動事例発表、園芸・ガーデニング関係の著名人によるパネルディスカッション、現地見学会などを実施しています。本大会は全国花のまちづくりコンクールの関連イベントであり、当会は実行委員会メンバーとして運営に参画しています。

令和8年度は、6月27日・28日の両日、北海道恵庭市において開催します。初日は、NPO法人Green Works代表理事による基調講演、市内の中学校や住民団体、他市町村による事例発表、トークセッションやパネル展示などを、2日目は、同市内の花の名所を巡る現地見学会を、それぞれ予定しています。

### ～こまつの杜での花育～

石川県小松市にある「こまつの杜」において、当会研究員がコマツのOB/OG、社員などと共に、地元の幼稚園やこども園の園児を対象に、種まきから鉢上げ、花壇づくりなどの花育を実施します。また、花苗を市内の高齢者福祉施設などに無償提供します。

令和8年度は、こまつの杜の「ナチュラルガーデン」での種とりや花植えなど四季の変化を学ぶ取組みや、JR小松駅東口に整備された「おもてなし花壇」において、園児やその家族の方々との植込み作業等の活動を行っていきます。

## 4) 屋上緑化

コマツビル屋上庭園の維持管理と一般公開、専門家の見学受け入れなどを実施し、屋上緑化の先進事例としての情報発信と普及啓発に努めます。

現在、コマツビルの建替えに伴い、屋上庭園のシンボルでもあった八重紅枝垂をはじめとする植物を可能な限り当会結城農場に仮移植し、管理・育成中です。令和8年末に完成予定の新コマツビルの屋上へ今夏頃から復植を開始する予定です。

結城農場で管理中の植物の状態は、適宜当会ホームページやInstagram、X（旧Twitter）で情報発信しています。

### (3) 桜の品種特性や樹勢回復についての研究、桜の樹勢回復に関する調査研究と技術指導

#### 1) 自主研究

～桜の品種特性に関する調査研究～

当会結城農場にある桜見本園で収集保存している桜の花の形状等品種特性について、画像のデータ化やホームページ等での情報公開を進め、多様性のある桜に対する世間一般の認識度を高めます。

～桜の樹勢回復に関する調査研究～

同じく桜見本園の桜について、樹勢回復に関する試験研究を継続し、全国各地の桜の保全についての技術力を高めます。

近年、関東地方などを中心に特定外来生物クビアカツヤカミキリの被害が発生しており、受託業務等を通じて本害虫の防除を実施しています。令和8年度も地元自治体とも連携し、本害虫の防除に関する知見を高め、桜の樹勢回復作業に活かしていきます。また、国内各地の植物園や研究機関など、桜を収集している場所に対しての防除の事例になるよう取り組んでいきます。

## 2) 受託研究

～桜の樹勢回復に関する調査研究と技術指導～

桜の老齢樹の樹勢回復に関する調査・研究と樹勢回復方法の立案や技術指導などを地方自治体から委託を受けて行います。

引き続き地方自治体や関連団体等々と連携を取りながら、剪定、病虫害駆除、施肥など、樹勢回復の提言と指導を引き続き行っていきます。

(令和8年度受託予定の研究事例)

- ・幸手市（埼玉県）： 権現堂桜堤の桜樹勢回復
- ・須坂市（長野県）： 臥竜公園の桜樹勢回復
- ・藤岡市（群馬県）： 三波川（サクラ）の桜樹勢回復 など

以 上